

小児コンサルテーション・リエゾン

小児医療の現場で精神医学の専門性が求められるとき、小児診療スタッフの相談(コンサルテーション)を受け、ときにスタッフへの支援も行い、子どもたちの心身の安定と健康のために連携(リエゾン)してくれる体制、つまりは心の診療相談連携体制(コンサルテーション・リエゾン)が必要となってくると考えるものです。

コンサルテーション・リエゾンは、基本的には精神医学を土台とするもの(コンサルテーションリエゾン精神医学)です。わが国でも、大人の領域で関心が高まっていますが、まだどこでも対応できる体制までには至っていません。子どもの領域では、これから着手する段階といえるかもしれません。子どもは、成長発達する存在です。長期にわたる治療や入院、さまざまな医療処置などが、子どもの成長発達に影響しないはずがありません。子どもの心の診療相談連携には、大人のそれとは異なる特徴があるといえるでしょう。

日本小児精神神経学会は、子どもたちの心の問題に留まらず、身体疾患のある子どもたちの成長発達を意識した子どもの心相談連携体制が必要と考えるものです。本ガイドランスは、こうした問題意識に基づき作成したものです。日常的に子どもたちにかかわるすべての方々にも多少でもお役に立つことができることを願っています。
(巻頭言より抜粋)

目次

[巻頭言] 子どもの心相談連携体制を目指して …… 宮本 信也

第I章 総論

コンサルテーション・リエゾンの概念と発展 ……	奥山真紀子
小児リエゾンの特徴 ……	古荘 純一
小児の慢性疾患—子どもと家族への影響— ……	宮本 信也
子どもへのインフォームド・コンセントと	
子ども自身の主体的参加 ……	増子 孝徳
コンサルテーションモデルとその方法 ……	菊地 祐子
子どものアセスメント ……	田中 恭子
親に対するサポート 井原 成男・岩崎 美奈子・山下 真菜	

第II章 各論：疾患別にみたアセスメントと具体的介入

周産期のメンタルヘルス ……	小西 晶子・立花 良之
ハイリスク児の特性と支援 ……	永田 雅子
小児・AYA世代における悪性腫瘍 ……	田中 恭子
臓器移植 ……	田中 恭子
喘息・アレルギー ……	大矢 幸弘
糖尿病 ……	高池 浩子・三浦順之助
性分化疾患 ……	位田 忍
染色体疾患・遺伝性疾患 ……	水野 誠司
慢性腸疾患 ……	平野 友梨
小児外科疾患 ……	工藤 博典・上埜 高志・仁尾 正記
歯科疾患 ……	中村 全宏
小児慢性身体疾患に使用される薬剤の	
留意すべき精神症状 ……	宮島 祐
神経発達症群に対する向精神薬における	
小児適応承認薬 ……	宮島 祐

第III章 各論：状況に応じたアセスメントと具体的介入

身体疾患や障害を持つ子どもの精神症状	
……	佐竹 隆宏・汐田まどか
自殺行動障害と希死念慮 ……	古荘 純一
精神障害のある子どもの身体的疾患の罹患 ……	三木 崇弘
診断や治療に必要な手技に対する拒否	
—プレパレーション・ディストラクション— ……	割田 陽子
器質的疾患の原因の一つに心理的ストレスが	
考えられるとき ……	北山 真次
身体化のアセスメントと対応 ……	菊地 祐子
事故や慢性疾患に伴う心的外傷体験の	
心理的影響とその対応 ……	柳楽 明子
小児のせん妄のマネージメント ……	石井 礼花
子どもと家族の疾病受容への支援 ……	辻井 弘美
先端医療へのチームアプローチ ……	永田 雅子
緩和ケアへのチームアプローチ ……	余谷 暢之
子ども虐待 ……	引土 達雄
在宅医療における心理的社会的支援、発達支援 ……	米山 明
トランジション(移行期支援) ……	宮地 泰士
親がメンタルヘルスの問題を抱えている	
ケースへの対応 ……	井上 祐紀

第IV章 包括的支援のあり方

発達の視点からみた介入指針 ……	松崎くみ子
不安低減を目的とした介入 ……	濱田 純子
家族療法の視点をういた介入 ……	辻井 弘美
小児慢性疾病を持つ子どもと家族への	
心理社会的支援 ……	鈴木 彩
多職種チームによる活動 ……	田中 恭子
診療報酬と保険点数 ……	小枝 達也
今後の課題 ……	田中 恭子・永田 雅子

●定価：本体3,500円＋税 ●A4判 148頁
●ISSN 0559-9040